

令和3年度高齢者の摂食嚥下障害支援研修募集要項

1 目 的

口から食べることは、生きる喜びであり、生活の質に大きく影響を及ぼすことです。高齢者の食の問題である摂食嚥下機能障害に焦点を当て、対象者の特性に合わせた確かなケア・リハビリテーションを実施するため、多職種やチームによる包括的介入について学ぶとともに、将来リーダーとしての役割が発揮できるよう必要な知識を学び、口腔ケア・食事援助の実際を体験します。

2 開催期間

令和4年1月18日（火）～2月9日（水）全5日間

3 開催方法

オンライン（Zoom ビデオウェビナー又は Zoom ミーティング）及びオンデマンド（YouTube 等）により実施します（別紙参照）。

4 受講対象

高齢者介護に関わっている保健・医療・福祉分野の従事者であって、次に掲げるアからウまでの全てを満たす者

ア 摂食嚥下の対応について課題を持っていること

イ 全日程出席できること

ウ 下記5「受講条件」を満たすこと

5 受講条件

（1）オンライン講義に臨むに当たり次の条件を満たすこと

ア パソコン又はタブレット端末の準備

資料を画面上で確認し、並行して資料作成も行う機会があるため、パソコン又はタブレット端末が必要です（パソコンが望ましいです。）。

イ アプリケーションの準備と活用（必須と任意の別にご注意ください）

（ア）「Microsoft PowerPoint」の準備及び活用（任意）

別紙の第5回における「課題（事例）発表会」に係る発表資料作成に用います。

（イ）「Microsoft Word」の準備と活用（必須）

上記（ア）の対応が困難な場合に用います。

（ウ）「Microsoft Excel」の準備と活用（必須）

文字入力程度で、複雑な操作は必要ありません。

ウ 通信環境の確保

オンラインでの実施でありインターネット通信を利用することから、光回線などの常時接続ができる定額制課金のインターネット通信を確保することを推奨します。定額制課金でない携帯電話やモバイル Wi-Fi の回線を使う場合は、データ使用量により利用料金（パケット通信料）が高額になることがありますのでご注意ください。

なお、通信の安定性確保のため、有線 LAN での接続を推奨します。

(2) 次の事前準備ができること

ア 事前課題

開催までに必読図書の通読と、これに基づく事前課題（任意の摂食嚥下障害者に係るアセスメント）に取り組むことができること（図書と課題の詳細は受講決定通知時にお知らせします。）。

イ 食事介助用具等の準備

3日目に、食事介助ハンズオン（体験学習）に用いるスプーン等の食事介助用具及びプリン等の食品を準備できること。

6 募集人員

25名程度

7 研修内容

別紙参照

8 申込期間

10月1日（金）～11月8日（月）

9 申込方法

本センターホームページのフォームメールによる申込み

※「実践教育センターへのお問い合わせ」用フォームメールではありませんのでご注意ください。

10 受講経費

10,000円（税込）

※ほかに、上記5（2）のとおり、開催までに必読図書の購入、3日目に食事介助ハンズオンに用いるスプーン等の食事介助用具及びプリン等の食品などが別途必要になります。

11 受講決定及び通知

(1) 受講決定

申込者が募集人員を超過した場合は、申込者が入力したフォームメールの内容に基づき選考します。選考基準は次のとおりです。

ア 先着順

イ 同一所属からの複数申込は原則として2名までとする。

(2) 通知

11月中旬頃に、申込者全員に受講の可否を、受講決定者には合わせて受講経費の納入方法、必読図書、事前課題等についてメールで通知します。

12 修了証書の交付

総時間数の5分の4以上出席した者に交付します。

13 その他

ア 講義資料は事前に電子データで配信する予定です。紙面の資料が必要な場合は、各自印刷してください。

イ 5日目の事例発表会について、受講者の所属における理解とチームとしての取り組みを推進するため、各受講者から職場関係者への参加呼びかけに御協力をお願いします。

以上

令和3年度高齢者の摂食嚥下障害支援研修（日程・内容）

回	月日	時間	形式 (※)	目的・ねらい	内容	講師
1	1/18 (火)	8:55 ～9:00	O L	開講 オリエンテーション		研修担当
		9:00 ～12:15		食べるメカニズムとその働きについて学ぶ。	摂食嚥下機能のメカニズム ・捕食と咀嚼 ・咽頭への送り込み、咽頭通過、食道通過など ・事例から見たメカニズム	海老名総合病院 歯科口腔外科部長 石井 良昌
		13:15 ～14:45		口腔機能の問題点を知り、的確なアプローチについて学ぶ。	摂食嚥下障害者への口腔ケア ー急性期医療から在宅での口腔ケアの実際ー	東名厚木病院 摂食嚥下療法科課長 歯科衛生士 西川 利恵
		15:00 ～16:15		食べる機能の障害に関してのリハビリについて学ぶ。	摂食嚥下障害者への基礎的アプローチ	日本医科大学多摩永山病院 リハビリテーション室主任 言語聴覚士 黄金井 裕
		16:15 ～16:30		チームとしてメンバー間のコミュニケーションを図る。	グループディスカッション	研修担当
2	約180分 視聴期間 1/19 (水) ～1/27 (木)		O D	人間の尊厳、食べる権利について理解し、様々な合併症予防について学ぶ。 また、認知症を有した方への食事介助について学ぶ。	摂食嚥下障害を有する人への包括的スキル	NPO 法人口から食べる 幸せを守る会 理事長 小山 珠美
	1/24 (月)	9:00 ～12:15	O L	嚥下調整食について学ぶ。	摂食嚥下障害者への栄養管理と食事の対応	地域栄養ケア PEACH 厚木 代表 江頭 文江
3	1/28 (金)	9:00 ～12:15	O L	デモンストレーション又は動画並びにハンズオンにより技術を学ぶ。	口腔ケアの実際	西川 利恵（職位略）
		13:15 ～15:20	O L		食事援助の実際	小山 珠美（職位略）
		15:20 ～16:00	O L	学びを振り返る。	発表	研修担当
4	2/2 (水)	9:00 ～16:30 (注)	O L	KT バランスチャートを用いたアセスメントから評価までの一連の過程について学ぶ。	演習 課題（事例） 検討（グループで持ち寄った事例を検討、必要時検証を行う）	小山 珠美（職位略）

5	2 / 9 (水)	9 : 00 ～10 : 00	O L	<p>検討した事例に係る KT バランスチャートを用いたアセスメントから評価までの一連の過程について、検証結果等に基づくまとめと演習発表にて共有し理解を深める。</p> <p>また、職場関係者の参加により多職種やチームによる包括的介入の必要性を理解する。</p>	演習 課題（事例） 検討 発表準備	<p>小山 珠美（職位略） <u>※各所属の職場関係者の参加あり。</u></p>
		10 : 00 ～12 : 15			課題（事例）発表会 講評	
		12 : 15		閉講		研修担当

(※) O L・・・オンライン（Zoom ビデオウェビナー又は Zoom ミーティングにより、インターネット上にてライブで行います。）

O D・・・オンデマンド（YouTube 等により、インターネット上にアップロードされた動画を公開期間内に任意のタイミングで視聴していただきます。）

(注) 2月2日は、次の時間のみ説明、各グループのラウンド及び質疑応答等を行っていただきます（他の時間は、受講生には各グループ内でディスカッションを行っていただきます。）。

AM 9 : 00～9 : 45

11 : 30～12 : 15

PM 14 : 00～14 : 45

15 : 30～16 : 15